

# 平成 30 年度 第 2 回あま市公共施設等 総合管理計画策定委員会 議事要旨

平成 30 年 8 月 9 日 (木)  
午前 9 時 30 分から 11 時 30 分まで  
本庁舎 2 階 大ホール

## 1 出席者等

出席者等 (委 員)	11 名
(事務局)	5 名
(傍聴者)	0 名

## 2 議 題

- (1) 施設ごとの再配置の方向性について
- (2) ロードマップの作成方針について

### 【施設ごとの再配置の方向性について】

(説明要旨)

○対象施設における現状と課題について説明。

最終評価における再配置方針及び再配置に向けた検討事項について説明。

### 【主な質疑等】

(委員)

○障がい者福祉の関係で、当初は 4 つの事業所を民営化ということであったが、保護者との意見交換の結果、公共として残すことになったと聞いている。今は社会福祉協議会がやっているが、昼間の事業所を確保すれば良いという時代ではなくなってきており、障がい者の人生を支えることが必要となってきたり、民間の事業者はそのようになってきている。社会福祉協議会には多様な業務があり、対応が難しいと思う。保護者との継続的な話し合いを続けて欲しい。ひまわり作業所に統合となると 30 名の定員となる。また、就労支援 B 型と生活介護と異なるなど様々な対応が必要となる。

(事務局)

○現在の全ての利用者を受け入れることが難しいことは認識している。民間へ移っていただくことも必要となる。ひまわり作業所の定員の中で事業を行っていきたい。

(委員)

○慣れ親しんでいる環境を変えたくないという人もいる。新しい方はまだ良いが、高齢化した親御さんなどは難しいかもしれない。

(事務局)

○意見交換をさせていただいて、移っても良いという方がいた。また、運営をしっかりとして行って欲しいという意見もあった。

(座長)

○資料1別紙のヒアリング時点では、保留であったものが、ひまわり作業所を除くすべての施設が民間へ譲渡から解体という結果に変わっているが、経緯を補足していただきたい。

(事務局)

○現在、福祉施設は他の福祉施設と複合化されていることから、保留のままでは他の福祉施設も方向性が定まらないため、所管課と意見交換し、利用者が移った後には解体ということで整理した。

(委員)

○甚目寺南防災センターは、廃止までの間はどのように活用するか。今後、譲渡になることもあり得るか。

(事務局)

○新しい施設のため、地元へ譲渡の話はしているが、要望がない。防災センターとしての利用ではなく教育相談センターなど他の用途での活用も検討する。

(委員)

○地元の区長さんは交代されるため、今後、方針が変われば、譲渡の可能性はあるか？

(事務局)

○可能である。譲渡の意思があるのか毎年確認していきたい。

(委員)

○七宝公民館の機能を他の施設の機能と複合化することを検討とあるが具体的な案はあるのか。七宝公民館は老朽化しているため、第Ⅱ期までは使えないのではないか。

(事務局)

○現在の七宝公民館に他の施設の機能を複合化するのではなく、新たな場所に施設を建設することを想定している。現在の公民館は、修繕を行いながら、耐用年数の目安である50年までは使っていきたい。

(委員)

○解体にも費用がかかるため、インフラのお金を回すことが無いようにして欲しい。

い。

(委員)

○学校への複合化をしていくためには、そのままでは難しいため、改修が必要となるが、費用も必要となる。地元や利用者など様々な意見も聞く一方でそれだけでは計画は進まない。施設の統廃合についても機能をどこに移すのかイメージが湧きづらいため、今後どのように進めていくべきかを考えているか。

教育委員会として市長部局と連携をとりながら計画に則りどの様に進めていくかが重要であるため、今後の担当課の考えをお聞きしたい。

(事務局)

○ワークショップでも複合化のイメージを話し合っている。今後、大筋でいつやるかを決めた後で、細かい話は決めていきたい。

(委員)

○保育園の民営化はどのように進めていくか。

(事務局)

○ひかり保育園のように完全に民間による運営を想定している。

(委員)

○複合化するには、セキュリティの確保や建物の改修に費用がかかるため、大規模改修に合わせて実施する必要がある。

(座長)

○そういった複合化による改修の事例を調べながら、やっていく必要がある。

(委員)

○学校の活用は必須であると思う。人口減少に伴い、児童・生徒数が減り、余裕教室は増えるため、有効活用する必要がある。

(委員)

○前回は、民間への譲渡という表現であったと思う。持家化というのは、住んでいる人に渡すという意味か。

(事務局)

○民間に譲渡というと、建売業者やマンション分譲事業の企業などのデベロッパーに渡すように思われるため、個別に住んでいる方に渡すという意味である。

(委員)

○個別だと受ける方と受けない方がいると思う。維持管理は個人が行うか。自治

会のような組織が行うか。

(事務局)

○個別に協議して決めていくが、維持管理は個人で行っていただくことになる。

### 【ロードマップの作成方針について】

(説明要旨)

○ロードマップを作成していく上での考え方について説明。

### 【主な質疑等】

(座長)

○長寿命化計画を来年度に作成するということだが、再配置計画との関係性はどうか。

(事務局)

○残すものが再配置計画で概ね決まってくるため、改修内容や時期を定め、均すことができるようにしていきたい。

(座長)

○予算の関係で再配置計画の通りに進まないということもあるか。

(事務局)

○長寿命化計画では、平準化していきたいと考えている。

(委員)

○体育施設はⅡ期に複合化とあるが、今後もスポーツクラブの教室が増えていくと思われ、場所の確保はどうするのか。今後は指定管理を受けてやっていきたいと考え、準備を進めている。複合施設ができるのは良いが、体育館を解体すると、その期間は利用ができないことになる。小中学校の活用も重要と考える。

(事務局)

○学校をいかに活用するかということが重要となる。今も学校開放はしているため、今後もやっていきたい。

(座長)

○複合化と解体は、どちらが先になるか。同時だと使えない期間が生じる。

(事務局)

○複合施設ができてから、解体と考えている。

(委員)

○統合すると移動の足や駐車場の確保が必要だと思う。鉄筋コンクリート造の建物の寿命が 50 年は短いと思った。学校の複合化については当初は抵抗があったが、セキュリティ確保の事例が示されていて、イメージが湧いた。予算の削減をしていこうとしているが、少なからず予算は必要となるため、予算との兼合いで検討しながら進んでいくことが分かった。

(事務局)

○現在、巡回バスを試行的に週 3 回走らせているが、数は足りないと思う。すぐにバスを増やすということとは言えないが、課題として認識している。駐車場の不足についても認識しており、駐車スペースが確保できる土地の取得などが課題となってくる。建物の耐用年数は、これまで事後保全であったものを長寿命化することで 70~80 年もつということもある。ただし、地震大国でもあることから、安全面の確保などは専門家の意見を参考としていきたい。学校については、セキュリティの対策を行った上で複合化することとなる。セキュリティの確保に費用がかかるのは致し方ない。

(委員)

○市として優先順位は決めているか。すべて必要だとは思いますが、弱者への対応が優先になると思うが。

(事務局)

○現状で決めきれていない。福祉施設を優先するのか、スポーツ施設を優先するのかは決めていない。

(委員)

○多くの施設で耐用年数を迎えることから、継続や譲渡となる施設では大規模修繕を迎える施設が多いと思うが。

(事務局)

○来年度、長寿命化計画の中で決めていきたい。

(委員)

○方針転換があったのであれば、こまめに意見交換をしていった方が良い。

(事務局)

○今後も所管課と調整して、団体とも協議していきたい。

(委員)

○体育館の空調が無いと、暑い時期も長くなってきており、教室を中止せざるを得ない状況である。小中学校の体育館も空調をどうしていくか。

(事務局)

○この場では回答できないが、あま市としての方針を決めていかないといけない。

(座長)

○縮充ということで、コンパクト+ネットワークを実現するためにも公共交通のことはしっかりとお願いしたい。体育館の二つを一つにするとエアコンを付けられるなど施設を減らすことで設備整備を行うことも縮充と言える。

(事務局)

○公共交通も企画政策課で所管しているため、公共交通会議でも検討していきたい。

(会長)

○インフラの費用をハコモノには回さないという話があったが、お金が無いからと言って、このままズルズルといくわけにもいかない。空調の話も今後、議会等でも出てくると思う。

#### **【その他について】**

○次回（第3回）は、10月19日（金）9時30分からを予定している。